

特集

令和6年度施政方針と当初予算



3月4日、鈴木町長が第1回定例会にて行った施政方針演説と当初予算の主な内容についてお知らせします。

令和6年豊山町議会第1回定例会の開会にあたり、関係諸議案の審議に先立ちまして、新年度の町政に臨む私の所信と主要な施策について申し述べ、議員並びに町民の皆さんのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

さて、今年のご承知のとおり、元日に能登半島を中心とした震度7の地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。発生から2か月を経た今でも、大変多くの方々が避難生活を余儀なくされているところでございます。現地では、地震発生直後から国並びに多くの自治体や各関係機関・団体、ボランティアの方々が支援活動に取り組んでいるところであり、本町からも職員を派遣しております。引き続き、復旧・復興に向け、できる限りの支援に取り組んでまいりたいと存じます。今後、被災地における地震発生直後からの対応などの検証が進んでまいると存じますが、それらから課題を

整理し、本町における防災計画や防災訓練などの見直しに活かしてまいります。

また、正月2日には、羽田空港で航空機の衝突炎上という大きな事故が発生いたしました。かつて、中華航空機の墜落事故を経験した、空港を抱える本町としましては、事故の検証結果を注視し、必要に応じて関係機関などに、安全な空港運営を働きかけてまいりたいと存じます。

こうした2つの大きな事象で幕を開けた本年であります。国内の社会・経済情勢に鑑みますと、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置付けが「類感染症に変更されたもの」、この冬にはインフルエンザとともに感染者数の増加がみられ、警戒が必要となっております。また、世界各地での紛争の影響もあってか、諸物価の高騰が続いており、国民生活は一層の厳しさを増しているところであります。